

令和元年度 国有林野等所在市町村長有志協議会を開催

～ 代表世話人 川野 豊後大野市長を座長に選出して意見交換 ～

令和元年9月30日、大分森林管理署会議室において、令和元年度「国有林野等所在市町村長有志協議会」大分ブロックを開催しました。当日は、代表世話人の川野 豊後大野市長をはじめ、相馬 由布市長、日野 九重町長のほか11の市町から、また大分県からは農林水産部長代理 川野主幹にご出席いただき、国有林部局からは九州森林管理局 井口計画保全部長、木林資源活用課長、坂本大分森林管理署長、益田大分西部森林管理署長など9名が出席し、総勢26名により意見交換を行いました。

はじめに、代表世話人の川野豊後大野市長から、「本年4月から森林環境譲与税がはじまり、この協議会を機会に円滑な運用ができるよう議論を深め、森林整備をしっかりと進めていけるよう活発な意見交換をお願いします。」と挨拶がありました。

つづいて、九州局の井口計画保全部長から「我が国の森林が利用期を迎えている。この森林を循環させ成長産業化へつないでいく施策を進めている。また本年4月から森林経営管理制度がスタートし、この制度の主役である市町村の役割に大変期待をしている。国有林部局としては、県や市町村への情報提供、技術的支援、林業経営者の育成の面で協力してまいりたい。また、シカ被害対策、木材の安定供給などについても、この場で活発な議論が行われ成長産業化につながればと考えている。」と挨拶がありました。

来賓として、出席いただいた大分県農林水産部長代理の川野主幹から「大分県内の森林は利用期を迎え、循環型林業の実現を目指して様々な施策を展開しています。施策を展開するうえで、市町村や国有林との連携が重要であります。本県が進める施策について連携して取り組んでまいりたい。」と挨拶がありました。

協議会では、九州局木林資源活用課長から林業の成長産業化の取組、九州局の重点取組7項目の説明を行い、そのあと坂本大分署長、益田大分西部署長から公益重視の管理経営の一層の推進、森林・林業再生に向けた貢献についての重点取組を説明しました。

意見交換では、別府市から鶴見岳北斜面の保全対策、佐伯市から民国一体となった農林業被害対策、竹田市から各機関が連携した国道周辺の保全対策、由布市から市道上部の保全対策など多岐にわたる要望が出されました。坂本大分署長、益田大分西部署長から、いただいた要望については、しっかり受け止め、緊急を要する案件については、事業計画などに反映させるなど適切に対応する旨回答しました。

おわりに、坂本大分署長から「本日、様々なご意見をいただき国有林に寄せられたご意見に応えられるように取り組んでいきたい。今後も大分県、地域のご発展を祈念します。」と挨拶を述べ本協議会を閉会しました。

【 国有林野等所在市町村長有志協議会 大分ブロック 令和元年9月30日 】



司会進行 大分森林管理署 山部 地域林政調整官



川野 豊後大野市長あいさつ(中央) (代表世話人)



井口 九州局 計画保全部長あいさつ



林務管理課 河野 主幹あいさつ (大分県農林水産部長代理)

【 国有林野等所在市町村長有志協議会 大分ブロック 令和元年9月30日 】



井口 計画保全部長(中央) 答弁の様子



木林 資源活用課長 説明



坂本 大分森林管理署長(中央) 説明



益田 大分西部森林管理署長(右) 説明

【 国有林野等所在市町村長有志協議会 大分ブロック 令和元年9月30日 】



別府市からの要望事項説明



佐伯市(中央)からの要望事項説明



竹田市(左)からの要望事項説明



由布市からの要望事項説明